



ちよだコミュニティラボ
CHIYODA COMMUNITY LAB
～まちのつながり、活動の場をつくる～
d!|qbiolab://:stps



ちよだコミュニティラボの1年目は、町をシェアし、課題とリソースをシェアして、個人、集う人、働く人を、町をシェアし、課題とリソースをシェアして、それを量産して実施しました。この1年度は町をシェアできるのか、何をどうシェアするのか、田代士「田代士」が中心となって、町をシェアし、課題とリソースをシェアして、それを量産して実施しました。町をシェアし、課題とリソースをシェアして、それを量産して実施しました。町をシェアし、課題とリソースをシェアして、それを量産して実施しました。



小さな人のつながりがたくさんあることに注目し、小さなコミュニティのゆるいつながりをつくる

～それが、都心の千代田らしいコミュニティの姿？



都心の街にコミュニティはあるの？
新しい住民、イマドキの人はつながりを求めているの？

ただ、昔のように同じ町でも一つのコミュニティで全てのつながりを集約することは難しいのも確かです。身近な場所やテーマ・関心事などでつながった人たちが小さなコミュニティを構成する。そのコミュニティとコミュニティがつながることで、町の情報、歴史、課題などを分かち合い、未来を共に考え、共につくる。そうやって、町を支えるコミュニティができあがっていったら、その可能性を共に探りましょう！

実はコミュニティは、たくさんあります！

千代田のコミュニティ取組み例 Community Actions

区内のコミュニティの活動例を紹介します。中面では区内の多様な活動を一覧できるソーシャルグラフを掲載しています。

町に長く住む人が大好きな自分達の町の情報を、新しい方も分かち合うために、「神田住みこなしガイドブック」を作り、ホームページ「大好き神田」で情報共有もしています。
神田公園地区連合町会

親子で遊びに出掛けられる、家族で繋がれる、そんな場所を目指しています。
子育てサロン「セボン」

半蔵門エリアで、すれ違い際に「こんにちは」と言える街を目指して、マップづくり、サロン、マルシェ等に取り組んでいます。
あまっぶ(半蔵門/麹町)実行委員会

英語でのボランティア観光ガイドを目指す学びや活動を通じて、アクティブなシニアのつながりを作っています。
Chiyoda Community Connection

地区の人が集まり、高齢者の暮らしの課題を共有し、一緒に何ができるかを考えています！
ささえ愛まち会議(千代田区社会福祉協議会)

障害のある方など、生きづらさを抱える方を、地域で支えあえる仕組みをつくっています！
株式会社MOF MOFCA(障害者よろず相談窓口)

休日に子どもの遊び場がない神田で、親子で楽しめるイベントを地域の人と一緒に自分達の手で作っています。
神田プロレス

祭りの準備や開催を通して伝統を守り、新しい人との接点など地域のつながりの基盤となっています。
神田祭に参加する方たち



ちよだコミュニティラボ 2018年度活動一覧

- シェアリング@千代田**
町をシェアする人たちが何をどうシェアすることでどのようにつながれるか、探求しました。
- 基礎編 ～区内外のシェア活動の事例を知ろう**
- 1 まちの情報をシェアしよう (7/16)**
志田裕介さん(東京メトロ)/清水義弘さん(たまた株式会社)/及川浩二朗さん(つなGOちよだ)/三浦裕介さん(ちよだ広報部)
- 2 シェアリングエコノミーが拓く新しい暮らし (7/27)**
佐別当隆志さん(一般社団法人シェアリングエコノミー協会)/村瀬正尊さん(株式会社マツヅクリ・ラボラトリー)
- 3 住まいをシェアしよう (8/18)**
関真弓さん(NPO都市住宅とまちづくり研究会)/土山広志さん(株式会社リビタ)
- 4 子育てをシェアしよう (8/26)**
甲田恵子さん(株式会社AsMama)/勝連万智さん(ちよママ)/村上沙織さん(就学準備教室りーふ)
- 5 町をシェアしよう (9/2)**
坂井正正さん(神田公園地区連合町会 会長)/杉田宗一さん(四番町町会 会長)/渡辺美鈴さん(CCxTOKYO)

- アクション実践 アイデアソンからアクションが生まれました。**
- ◎本からつながるブック・シェアリング BooksBee Tokyo (12/13,20,1/25,3/28)
- ◎まちの情報の編集者になろう！～地域情報ナビゲーター入門編 with サンサン倶楽部 (2/15)
- ◎麹町地区初！ 就学準備教室 体験・見学 と交流会 就学準備教室りーふ (2/23)
- ◎海外で子育てしてみた！ ニッポンの子育て、常識の枠を外してみよう with ちよママ (3/10)
- ◎仕事・趣味の経験をシェアしよう！ with NPO法人シニア大楽 (3/11)

- 町会のこれからは共に考える**
- ◎神田住みこなしガイド
神田の町に長く住んできた人が、自分たちの好きな町の歴史・文化・活動を新しい住民とも分かち合いたいと考え、顔の見える関係づくりをテーマに冊子をつくりました。2018年10月1日に発行。神田公園地区連合町会の全町会で配布しました。
- ◎和泉橋ミライ会議 (7/24、9/14、10/22、1/10、3/25 (25町会会議))
地域が変化する中で10年後の町会に向けてできることを探るため、町会青年部長のみさんと対話しました。

- ちよだコミュニティラボライブ！**
- 千代田区をフィールドとする地域活動、NPO、町会、企業、大学など48団体が集い、相互理解を深めると共に地域の課題と未来を対話しました。
- ・事前説明会&意見交換会 (11/16,17)
- ・実行委員会会議 (1/9)
- ・ちよだコミュニティラボライブ！開催 (2/9)
会場:区民ホール 参加者:145人

- アイデアづくり編 ～どんなシェアが町には必要？**
- ・アイデア相談会 (8/29、9/12)
- ・シェアリング@千代田 アイデアソン (9/30)
基礎編で出た84アイデアから9アイデアを深めました。
- アクション編 ～シェアを広げよう！**
- ・アクション企画を立案する (10/24、11/14、12/12)

ちよだコミュニティラボとは？

千代田区では、人口が2000年当時の4万人弱から約6.4万人(19年3月)に急増しています。そのため、住み始めてから10年未満の方が半数を超えています。さらに、屋間人口は約85万人にのぼります。このように価値観も生活スタイル、地域との関わり方、コミュニティの考え方も大きく異なる多様な人たちがいる中で、人のつながり方、コミュニティの姿も新しい形を探る必要があります。千代田区の伝統あるコミュニティの姿をそのまま維持するのは難しくなっていますが、新しい住民の考えや進め方に全て合わせ、地域の伝統や文化などの個性を失うのも望ましくありません。10年後、20年後を見据えて考え、千代田区での人のつながり方、コミュニティのあり方を見直し、新しい姿を様々な実践を通して探求するラボ(試行錯誤の場)が、ちよだコミュニティラボ(ちよラボ)です。



ちよラボWEBサイトでは、区内活動の紹介を動画、音声も交えて紹介しています。活動の告知、レポートも掲載。また、facebookページ、メールマガジンでの 情報発信も行っています。

<https://chiyolab.jp>

千代田区地域コミュニティ醸成支援事業
主催：千代田区コミュニティ総務課
運営事務局：株式会社エンパブリック
平成31年3月31日発行

お問合せ
電話 03-5211-3656 (区コミュニティ総務課)
メール chiyolab@empublic.jp

町と私のつながり My Community Story

～ 出合いがつながりを生み、自分のできることでのシェアでつながりは深まる！

森山洋一さん
(富士見在住、富士見二丁目町会広報部)

私は地元で4代目で、実家は東京大神宮通りの神楽坂の芸者さんにも愛用して頂くカバン袋物屋でした。しかし、ずっと会社員として働いていたため、これまで地域との関わりはなく、むしろ避けていたくらいでした。ところが、定年退職後にマンション管理組合の理事長となり、そこで知り合った及川さんご夫妻が地域活動を始めたので、自分も誘われて、地域活動や町会のホームページ(HP)作りに参加するようになりました。町会のHP作りを始めてみると、町会の行事の取材記事を掲載するだけでなく、地元で役立つ情報収集にアンテナを上げていく必要性を感じています。これまであまり町会に関わっていなかった及川さんや私の視点からHPを作ることで、新住民のみなさんにも、地域や町会の活動を知ってもらえたらと思います。最近では、自分がこれまで熱中出来るのは何故だろうかと自問自答し、『地元愛』が自分にももったことに驚きつつも、毎日充実した老後を送っています。

村上沙織さん
(就学支援教室りーふ 代表)

小学校の教員をしていると、新入生が小学校生活に馴染めず困っている場面に出くわすことが増えたという実感がありました。先生の話が聞けず授業中の離席が続いたり、集団行動をとれなかったりという「小1アプロブレム」です。そこで自身の育児休業期中の15年10月に、就学準備教室りーふを立ち上げました。就学前の子ども達が小学校での集団行動を疑似体験し、環境の変化に対応する力を伸ばすことを大切にしています。18年までは神田公園地区で活動してきましたが、千代田区では家から遠い保育園に通うケースも多く、子どもも親も近所に知り合いがない場合もあります。りーふの教室は、集団での学習態度に慣れると共に、同じ小学校に進学予定の仲間ができて、親同士が地域で知り合えたりする意味もあると感じています。19年度からは、富士見、麹町、神田公園地区で巡回開催を始めます。お子さんの就学に不安のある方、子育て世帯の知り合いが欲しい方、ぜひご参加ください。

田坂桂子さん
(千代田区在住)

私は、メキシコ人の夫と千代田区で子育てをしています。千代田区の子育て環境の良さに惹かれ、他区から引っ越してきましたが、自宅から遠い保育園に入学したことで、仕事もしている子育て仲間を持ちづらいつと感じていました。そんな中、メキシコに留学経験のある方と知り合い、初めてのママ友に。彼女に、ちよだコミュニティラボに誘っていただき、ちよママ・ちよだコミュニティラボ共催に、メキシコの子育てを紹介する立場で登壇しました。今海外で子育て中のお二人ともネット会議をつなぎ、ディスカッションする中で、日本の子育て環境に窮屈さを感じる親もたくさんいることに気がきました。海外など具体的なことをきっかけに、子育て世帯のつながりが増えたらいいなと感じています。